

平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 AKIBAホールディングス
 コード番号 6840 URL <http://www.akiba-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 正身
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英

TEL 03-3541-5068

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,615	56.6	13		3		117	
29年3月期第2四半期	2,308	7.2	0		65		60	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 101百万円 (%) 29年3月期第2四半期 81百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	12.74	
29年3月期第2四半期	6.72	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	2,596	742	27.2	76.90
29年3月期	2,648	843	30.7	88.61

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 706百万円 29年3月期 814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	3.5	130	104.2	140		5		0.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	9,192,562 株	29年3月期	9,192,562 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	3,340 株	29年3月期	2,958 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,189,395 株	29年3月期2Q	9,008,964 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間末(平成29年9月30日)現在における財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの分析は以下のとおりであります。なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や良好な雇用環境を受けて、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済においても、地政学的リスクは存在しておりますが、為替相場は安定して推移いたしました。

そのような状況において当社グループは、既存事業の拡大に注力するとともに、下期の案件獲得に向けた営業活動及び人材の拡充に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,615百万円(前年同期比56.6%増)、営業損失は13百万円(前年同期は0百万円の営業損失)、経常損失は3百万円(前年同期は65百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は117百万円(前年同期は60百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業においては、従来のメモリ等の販売に加えて、IoT分野に注力するべくソリューションビジネスの立ち上げを行ってまいりました。業績については、産業機器向けの販売が堅調であり、かつ、PCメーカー向けのメモリ販売が引き続き好調に推移し売上が伸びましたが、世界的なメモリの供給不足を受けて調達コストが増加したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,349百万円(前年同期比51.5%増)、営業損失は7百万円(前年同期は8百万円の営業利益)となりました。

② ウェブソリューション事業

ウェブソリューション事業においては、将来の規模拡大のために採用活動を積極的に進め、人員の拡充が進みましたが、当第2四半期までにおいても当該新入社員の採用・教育費用及び人件費の負担が大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は40百万円(前年同期比23.7%減)、営業損失は28百万円(前年同期は0百万円の営業利益)となりました。

③ コンテンツ事業

コンテンツ事業においては、CD市場の縮小傾向が続いているため、CD事業は継続しつつ、コラボレーションカフェやグッズ制作等事業展開を拡げております。当第2四半期までにおいても、厳しい状況で推移いたしました。既存コンテンツの二次使用料の収益が想定を上回り、当第2四半期連結累計期間の売上高は225百万円(前年同期比11.2%減)、営業利益13百万円(前年同期は9百万円の営業損失)となりました。

④ 通信コンサルティング事業

通信コンサルティング事業においては、Wi-Fiレンタル事業は引き続き好調に推移いたしました。下期開始の大型案件のために人員の拡充や設備投資を実施した費用の負担が大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は628百万円(前年同期比37.7%増)、営業損失10百万円(前年同期は12百万円の営業損失)となりました。

⑤ HPC事業

HPC事業においては、下期に向けた受注を積み上げる一方で、当第2四半期においても堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は391百万円、営業利益21百万円となりました。

なお、HPC事業は前第4四半期連結会計期間に事業を追加したことにより、前年同期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は2,368百万円となり、前連結会計年度末2,417百万円と比べ49百万円減少いたしました。

主な増減要因は、現金及び預金の減少125百万円、受取手形及び売掛金の減少232百万円、商品及び製品の増加149百万円、及び原材料の増加50百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は228百万円となり、前連結会計年度末230百万円と比べ2百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、有形固定資産の増加17百万円、のれんの減少10百万円であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,599百万円となり、前連結会計年度末1,465百万円と比べ134百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、買掛金の増加131百万円、短期借入金の増加100百万円、1年以内返済予定の長期借入金の減少69百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は253百万円となり、前連結会計年度末339百万円と比べ86百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、長期借入金の減少85百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は742百万円となり、前連結会計年度末843百万円と比べ101百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の減少117百万円であります。

(キャッシュ・フローの分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)残高は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、606百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、41百万円(前年同期は7百万円の増加)となりました。これは主に、のれん償却額10百万円、売上債権の減少232百万円、仕入債務の増加131百万円、法人税等の還付額38百万円、保険金の受取額10百万円による資金の増加要因があった一方で、税金等調整前四半期純損失85百万円、たな卸資産の増加242百万円、未収消費税等の増加22百万円、未払消費税等の減少11百万円、法人税等の支払額74百万円、過年度決算訂正関連費用の支払額86百万円による資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は28百万円(前年同期は14百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出22百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は55百万円(前年同期は143百万円の収入)となりました。主な原因は、短期借入金の純増加100百万円、長期借入金の返済による支出154百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月1日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,456	610,338
受取手形及び売掛金	1,120,609	887,667
商品及び製品	367,572	516,790
仕掛品	24,466	67,427
原材料	69,175	119,748
未収還付法人税等	23,319	20,633
その他	83,499	152,354
貸倒引当金	△6,159	△6,956
流動資産合計	2,417,939	2,368,003
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,639	14,160
減価償却累計額	△4,821	△2,967
建物(純額)	9,817	11,192
工具、器具及び備品	93,632	109,458
減価償却累計額	△86,015	△85,656
工具、器具及び備品(純額)	7,616	23,802
有形固定資産合計	17,434	34,995
無形固定資産		
のれん	69,591	58,819
その他	35,605	25,673
無形固定資産合計	105,197	84,492
投資その他の資産		
長期未収入金	107,378	110,611
その他	108,568	108,753
貸倒引当金	△107,654	△110,795
投資その他の資産合計	108,292	108,568
固定資産合計	230,923	228,056
資産合計	2,648,862	2,596,059

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	606,591	737,864
短期借入金	350,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	282,958	213,120
未払法人税等	41,981	28,671
賞与引当金	30,648	24,831
返品調整引当金	8,408	6,782
その他	144,535	138,666
流動負債合計	1,465,123	1,599,935
固定負債		
長期借入金	283,510	198,430
退職給付に係る負債	19,998	21,559
長期未払金	27,464	27,464
資産除去債務	3,860	3,890
その他	5,108	2,554
固定負債合計	339,942	253,898
負債合計	1,805,066	1,853,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	471,824	471,824
利益剰余金	△354,499	△471,586
自己株式	△667	△811
株主資本合計	816,657	699,427
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△2,359	7,198
その他の包括利益累計額合計	△2,359	7,198
非支配株主持分	29,498	35,599
純資産合計	843,796	742,225
負債純資産合計	2,648,862	2,596,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,308,959	3,615,559
売上原価	1,860,474	3,078,320
売上総利益	448,485	537,239
販売費及び一般管理費	449,218	551,091
営業損失(△)	△732	△13,852
営業外収益		
受取利息	36	35
為替差益	-	1,966
債務勘定整理益	2,458	2,432
受取家賃	-	1,279
受取手数料	-	5,438
営業支援金収入	1,500	4,246
雑収入	922	1,524
営業外収益合計	4,917	16,923
営業外費用		
支払利息	2,570	2,545
為替差損	14,797	-
支払補償費	29,430	-
貸倒引当金繰入額	22,549	3,232
雑損失	55	924
営業外費用合計	69,402	6,702
経常損失(△)	△65,218	△3,630
特別利益		
貸倒引当金戻入額	92	-
受取保険金	-	10,000
特別利益合計	92	10,000
特別損失		
解約違約金	-	4,489
過年度決算訂正関連費用	-	86,895
減損損失	668	-
特別損失合計	668	91,385
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,794	△85,015
法人税、住民税及び事業税	9,687	25,813
法人税等調整額	△420	155
法人税等合計	9,266	25,969
四半期純損失(△)	△75,061	△110,984
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,521	6,101
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,539	△117,086

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△75,061	△110,984
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△6,723	9,557
その他の包括利益合計	△6,723	9,557
四半期包括利益	△81,784	△101,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,263	△107,529
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,521	6,101

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,794	△85,015
減価償却費	3,518	12,009
のれん償却額	52,809	10,772
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,753	3,938
賞与引当金の増減額(△は減少)	998	△5,816
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,741	1,560
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,875	△1,625
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,000	-
受取利息及び受取配当金	△36	△35
減損損失	668	-
支払利息	2,570	2,545
為替差損益(△は益)	1,410	△3,369
受取保険金	-	△10,000
過年度決算訂正関連費用	-	86,895
解約違約金	-	4,489
売上債権の増減額(△は増加)	299,458	232,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,384	△242,751
出資金の増減額(△は増加)	△1,373	4,714
仕入債務の増減額(△は減少)	△260,872	131,272
未収入金の増減額(△は増加)	15,469	△49,507
前渡金の増減額(△は増加)	△19,916	△337
長期未収入金の増減額(△は増加)	△22,549	△3,232
長期未払金の増減額(△は減少)	28,815	-
未払金の増減額(△は減少)	△5,285	9,479
未払費用の増減額(△は減少)	△7,256	△1,202
前受金の増減額(△は減少)	4,255	△26
未収消費税等の増減額(△は増加)	14,877	△22,554
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,998	△11,130
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	3,603	△724
その他	10,370	14,154
小計	74,262	77,442
利息及び配当金の受取額	36	35
利息の支払額	△2,593	△2,309
法人税等の還付額	-	38,578
法人税等の支払額	△64,129	△74,291
保険金の受取額	-	10,000
過年度決算訂正関連費用の支払額	-	△86,895
解約違約金の支払額	-	△4,489
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,576	△41,929

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△614	△22,042
定期預金の預入による支出	-	△600
敷金及び保証金の差入による支出	-	△1,378
保険積立金の積立による支出	△4,501	△4,868
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,058	-
その他	39	162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,135	△28,727
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	100,000
長期借入れによる収入	250,000	-
長期借入金の返済による支出	△106,844	△154,918
自己株式の取得による支出	△39	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,116	△55,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	136,558	△125,718
現金及び現金同等物の期首残高	815,833	732,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	952,391	606,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション 事業	コンテン ツ事業	通信コンサ ルティング 事業	HPC事業	小計		
売上高								
外部顧客へ売上高	1,546,847	53,177	254,106	454,828	—	2,308,959	—	2,308,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,486	—	—	1,750	—	6,236	△6,236	—
計	1,551,333	53,177	254,106	456,578	—	2,315,196	△6,236	2,308,959
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,962	254	△9,922	△12,304	—	△13,009	12,277	△732

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
2. セグメント利益の調整額12,277千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,116千円及びその他調整額68,393千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション 事業	コンテン ツ事業	通信コンサ ルティング 事業	HPC事業	小計		
売上高								
外部顧客へ売上高	2,347,690	40,602	225,642	609,899	391,725	3,615,559	—	3,615,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,175	—	—	18,797	97	21,071	△21,071	—
計	2,349,865	40,602	225,642	628,697	391,822	3,636,630	△21,071	3,615,559
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△7,106	△28,984	13,095	△10,615	21,689	△11,922	△1,929	△13,852

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
2. セグメント利益の調整額△1,929千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,166千円及びその他調整額92,237千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは前連結会計年度の第3四半期までは「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」「通信コンサルティング事業」の4つの報告セグメントでありましたが、前第4四半期連結会計期間において株式会社HPCテックを買収したことに伴い、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」「通信コンサルティング事業」「HPC事業」の5つの報告セグメントとしております。